

2013年3月1日

## プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

### 日興アセット、「ETF エクスプレス アワード 2013」にて 「アジア太平洋における最優秀株式 ETF 運用会社」に選出

～ 過去4年間で3回目の受賞 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)はこのほど、上場投資信託(ETF)の世界的な情報サイト「ETFエクスプレス」による「ETFエクスプレス アワード 2013」において、「アジア太平洋における最優秀株式 ETF 運用会社」に選出されました。

「ETF エクスプレス アワード 2013」は、世界的な投資ニュース提供会社である英グローバル・ファンド・メディア社のETF専門サイト「ETFエクスプレス」が主催し、同サイトの読者である投資家や証券会社、マーケットメイカーやファイナンシャルプランナーなどの投票によって決定されるもので、運用パフォーマンスだけでなく、商品の革新性や一貫性、専門的知識の深さや透明性など数多くの要素に基づいて選ばれます。地域や資産クラスなどによって複数のカテゴリーが設けられており、日興アセットはこのなかの「アジア太平洋における最優秀株式ETF運用会社」(“*Best Asia Pacific Equity ETF Manager*”)に選ばれました。日興アセットは2010年と2011年にも受賞しており、賞の創設から4年間で3度目の受賞となります。

日興アセットは、アジア太平洋地域においてETFを上場・運用している数多くの国内外の運用会社の中から、投資家や市場関係者のみなさまに最上の評価をいただいたことを大変光栄なことで受け止めています。今回の受賞をさらなる励みとして、投資家ニーズにお応えする商品の開発やサービスの向上に努め、ETF市場の一層の発展に貢献していきたいと考えています。

【ご参考】 「ETFエクスプレス」ウェブサイト <http://www.etfexpress.com>  
グローバル・ファンド・メディア社の公式ウェブサイト <http://www.globalfundmedia.com>

以 上

\*当該評価は過去の実績が評価されたものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。

## ■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、市場取引価格または基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益は、すべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <取得・換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 販売会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
 なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。

換金手数料 販売会社は、受益者が解約請求、交換を行なうとき、および受益権の買取りを行なうときは、当該受益者から、販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を徴収することができるものとします。

信託財産留保額 上限0.3%

### <取引所における売買時にご負担いただく費用>

売買手数料 取扱会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、取扱会社にお問い合わせください。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限0.9975%(税抜0.95%)

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、立替金の利息、受益権の上場に係る費用、標章の使用料および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.525(税抜0.5)以内(有価証券届出書提出日現在、0.525(税抜0.5))を乗じて得た額)など

※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用するETFのうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■その他留意事項

- 当資料は、投資者の皆様が弊社が運用するETFへのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、契約締結前交付書面などを十分にお読みください。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントグループ\*(以下、日興アセット)は、アジア・オセアニア地域を中核として展開する「アジアの資産運用会社」で、運用資産残高約 13.3 兆円\*\*を有します。1959 年の設立から半世紀以上にわたり、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、年金基金や事業法人などの機関投資家のみなさまには付加価値のある高品質な運用サービスを提供しています。

日興アセットは、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など国内の販売チャネルと、海外に広がる販売チャネルをあわせて、アジア・オセアニア地域で最大規模の 300 社超の販売ネットワークを通じてお客さまに投資信託を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の運用力を活用する「ワールドシリーズ・ファンド・プラットフォーム」により、お客さまのニーズに合った幅広い商品をご提供しています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。また、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興アセットが擁するネットワークは、東京本社をはじめ、シンガポール、香港、マレーシア、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランドとアジア・オセアニアの 8 つの国・地域に広がっており、地域ごとに現地の特性に応じた経営を展開する「マルチ・ローカル戦略」を実践しています。ロンドンならびにニューヨークにもオフィスを構え、米国・欧州ならびに中東で投資家のみなさまにサービスを提供しています。

\*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2012 年 12 月末現在のデータ

## 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会